

# ANIMATION BOOTCAMP 2013

## 「アニメーションブートキャンプ2013」 報告会・公開講座開催

「アニメーションブートキャンプ2013」は、これからのアニメーション産業で働くことを目指す大学生・専門学校生を対象に開催された、4日間に渡る合宿形式のワークショップです。日本を代表するアニメーター・アニメーション監督を講師に迎え、五感や全身を使いながら表現者の核となる「表現するための記憶」を、グループによるアニメーション制作を通して刺激・開発し、アニメーションの大切な要素である「観客に伝わる表現」を学ぶことを目指しています。

報告会ではアニメーションブートキャンプについて、そのコンセプトや本年度の実施内容の詳細をお伝えします。さらに、第二部の公開講座では『ももへの手紙』などを手掛けた映画監督の沖浦啓之さんを迎え、アニメーションにおける演技についてお話を伺います。

日時

2014年2月16日 日

15:30～18:00 (開場15:00)

場所

政策研究大学院大学 1A会議室  
(東京都港区六本木7-22-1)

定員

80名(事前申込制)

下記WEBサイトよりお申込み下さい。  
<http://mediag.jp/abc2013/>

アニメーション  
ブートキャンプ2013  
講師

50音順 敬称略

浅野 直之(アニメーター)  
板津 匡覧(アニメーター)  
稲村 武志(アニメーター、株式会社スタジオジブリ)  
押山 清高(アニメーター)  
片淵 須直(アニメーション監督、脚本家)

第1部 15:30～16:50

報告会『アニメーションブートキャンプ体験記』

スピーカー ※敬称略

●アニメーションブートキャンプ2013 ディレクター

竹内 孝次(アニメーションプロデューサー)

布山 タルト(東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻 准教授)

第2部 17:00～18:00

公開講座『アニメーションの自然な演技を考える』

スピーカー ※敬称略

沖浦啓之(映画監督) 代表作『ももへの手紙』など

京極 義昭(アニメーター、株式会社プロダクション・アイジー)  
後藤 隆幸(アニメーター、キャラクターデザイナー、株式会社プロダクション・アイジー)  
佐藤 好春(アニメーター、日本アニメーション株式会社)  
富沢 信雄(アニメーション監督、株式会社テレコム・アニメーションフィルム)

文化庁では、メディア芸術に関する文化施設、教育機関、産業界等の連携・協力拠点となるコンソーシアムの構築を目指す「メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業」を実施しています。「アニメーションブートキャンプ」は当事業で行われているプロジェクトのひとつであり、産学連携のもと運営されています。これまでの開催概要は下記WEBをご覧ください。

<http://mediag.jp/project/project/bootcamp2013.html>

主催  文化庁 平成25年度 文化庁  
メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業

<第1部>

報告会『アニメーションブートキャンプ体験記』

アニメーションブートキャンプの現場では一体どんな教育が行われ、参加者たちは何を学んだのでしょうか？  
本事業の二人のディレクターを中心に、実際の課題、学生の作り上げた作品、ワークショップの実施映像等を交えながら、アニメーションブートキャンプについて具体的に報告します。講師陣・参加学生も同席し、時間の許す範囲で現場の声もお伝えします。

<第2部>

公開講座『アニメーションの自然な演技を考える』

監督であり、ご自身がアニメーターでもある沖浦啓之さんを迎え、お話しを伺います。アニメーションブートキャンプでは、「観察に根ざした自然な演技」を考え実践しましたが、沖浦流では「自然な動き・演技」をどのように考え、捉えているのか。監督の描く独特な動きをどう獲得したのかを語って頂きます。更に監督として、これからのアニメーターに求めたいことについてもお聞きします。

登壇者プロフィール

敬称略

公開講座

沖浦 啓之

(映画監督)

1966年大阪府生まれ。1982年、作画スタジオ 有限会社アニメールに入社。1984年TVシリーズ「星銃士ビスマルク」で初作画監督。映画「AKIRA」「ピーターパンの冒険」「老人Z」等の原画を勤め、1991年上京。1992年映画「走れメロス」でキャラクターデザイン・作画監督・絵コンテを担当。1995年には映画「GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊」でキャラクターデザイン・作画監督を経て初監督となる映画「人狼 JIN-ROH」を2000年に発表。ホルト国際映画祭1999での最優秀アニメーション賞・審査員特別大賞受賞をはじめ、他映画祭でも各賞を受賞。翌年には「COWBOY BEBOP 天国の扉」でオープニングの絵コンテ・演出・原画で参加。2004年に映画「イノセンス」でキャラクターデザイン・作画監督・原画を担当し、その後2012年に「もへへの手紙」に着手。監督作品としては2作目となる。

講師プロフィール

50音順 / 敬称略

浅野 直之

(アニメーター)

陸演隊を経て現在フリー。  
テレビシリーズや劇場作品など多数の作品に関わっている。

【主な参加作品】

- テレビアニメーション
  - 『四畳半神話大系』(2010、作画監督)
  - 『とある科学の超電磁砲S』(2013、ED作画監督・ED原画)
- 劇場アニメーション
  - 『時をかける少女』(2006、原画)
  - 『エヴァンゲリオン新劇場版:序』(2007、原画)
  - 『ドラえもん 新・のび太と鉄人兵団〜はばたけ 天使たち〜』(2011、総作画監督)
  - 『鋼の錬金術師 嘆きの丘の聖なる星』(2011、原画)
  - 『しらんぷり』(2012、キャラクターデザイン・作画監督)
  - 『聖☆おにいさん』(2013、キャラクターデザイン・総作画監督・原画)
  - など

板津 匡覧

(アニメーター)

株式会社ぎやろっぷを経てフリーのアニメーターとして活躍中。

【主な参加作品】

- テレビアニメーション
  - 『こちら葛飾区亀有公園前派出所』(1996~2004、原画、動画)
  - 『妄想代理人』(2004、作画監督・原画)
  - 『電脳コイル』(2007、総作画監督、作画監督・原画)
  - 『亡念のザムド』(2008、作画監督・原画)
- 劇場アニメーション
  - 『こちら葛飾区亀有公園前派出所 THE MOVIE2』(2003、原画)
  - 『パプリカ』(2006、原画)
  - 『風立ちぬ』(2013、原画)
  - など

稲村 武志

(アニメーター、株式会社スタジオジブリ)

株式会社スタジオジブリ所属のアニメーター。シンエイ動画株式会社で動画・動画チェックを担当後、1991年株式会社スタジオジブリ入社。数々のジブリ作品で原画を手掛ける。

【主な参加作品】

- 『ハウルの動く城』(2004、作画監督)
- 『ゲド戦記』(2006、作画監督)
- 『崖の上のポニョ』(2008、作画監督補)
- 『コクリコ坂から』(2011、作画監督)
- 『くじらとり(三鷹の森ジブリ美術館オリジナル短編作品)』(2001、演出アニメーター)
- 『たからざしがし』(2011、演出アニメーター)
- 『風立ちぬ』(2013、原画)
- など

押山 清高

(アニメーター)

現在フリーのアニメーターとして数多くの作品に参加。

【主な参加作品】

- 『電脳コイル』(2007、作画監督・原画)
- 『エヴァンゲリオン新劇場版:破』(2009、原画)
- 『借りぐらしのアリエッティ』(2010、原画)
- 『鋼の錬金術師 嘆きの丘(ミロス)の聖なる星』(2011、アニメーションディレクター・原画)
- 『風立ちぬ』(2013、原画)
- など

片瀬 須直

(アニメーション監督、脚本家)

アニメーション監督、脚本家、日本大学芸術学部映画学科講師、日本大学芸術学部映画学科にてアニメーションを専攻し、特別講師として来た宮崎駿監督と出会い、在学中から宮崎監督の作品に脚本家として参加する。STUDIO 4℃の設立に参画。STUDIO 4℃で代表作である『アリーテ姫』を監督した後、マッドハウスを経て、現在はMAPPAで次回作に挑戦中。

【主な参加作品】

- 『名探偵ホームズ』(1984、脚本)
- 『魔女の宅急便』(1989、演出補)
- 『七つの海のテイク』(1994、設定協力、絵コンテ)
- 『名犬ラッシー』(1996、監督)
- 『アリーテ姫』(2000、監督・脚本)
- 『マイマイ新子と千年の魔法』(2009.11公開、監督・脚本)
- 『BLACK LAGOON Roberta's Blood Trail』(2010-2011、監督・脚本)
- 『この世界の片隅に』(制作準備進行中、監督・脚本) など

京極 義昭

(アニメーター、株式会社プロダクション・アイジー)

専門学校を卒業後、プロダクション・アイジーに入社し、アニメーターとして多くの作品に参加。近年は演出としても活動している。

【主な参加作品】

- 『精霊の守り人』(2007、原画)
- 『図書館戦争』(2008、原画)
- 『東のエデン(TV/劇場版)』(2009-2010、原画・絵コンテ)
- 『戦国BASARA弐』(2010、作画監督)
- 『君に届け 2ND SEASON』(2011、作画監督)
- 『うさぎドロップ』(2011、演出)
- 『ROBOTICS;NOTES』(2012、演出)
- 『黒子のバスケ』(2012、演出)
- など

後藤 隆幸

(アニメーター、キャラクターデザイナー、株式会社プロダクション・アイジー)

プロダクション・アイジー取締役。ドラゴンプロダクションなどを経て、アニメーターとして東映動画やタツノコプロの作品に参加。1988年、『赤い光弾ジリオン』終了後にタツノコ制作分室の石川光久とともに有限会社アイジー・タツノコ(現・プロダクション・アイジー)を設立。

【主な参加作品】

- 『Gu-Guガンモ』(1983、作画監督・原画)
- 『赤い光弾ジリオン』(1987、キャラクターデザイン・作画監督)
- 『ぼくの地球を守って Please Save My Earth』(1993、キャラクターデザイン・総作画監督)
- 『HUNTER×HUNTER』(1999、キャラクターデザイン・作画監督)
- 『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX』(2002、作画監督)
- 『攻殻機動隊 S.A.C. 2nd GIG』(2004、キャラクターデザイン・作画監督)
- 『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX Solid State Society』(2006、キャラクターデザイン・総作画監督)
- 『獣の奏者エリン』(2009、キャラクターデザイン・総作画監督)
- 『黒子のバスケ』(2012、総作画監督) など

佐藤 好春

(アニメーター、日本アニメーション株式会社)

日本アニメーション株式会社所属のアニメーター。スタジオジブリや日本アニメーションにて世界名作劇場などの原画やキャラクターデザインを手掛ける。

【主な参加作品】

- 『愛少女ガリアナ物語』(1986、キャラクターデザイン、作画監督)
- 『劇場版フランダースの犬』(1996、キャラクターデザイン、作画監督)
- 『となりのトトロ』(1988、作画監督)
- 『魔女の宅急便』(1989、原画)
- 『おもひでぽろぽろ』(1991、作画監督)
- 『ロミオの青い空』(1995、キャラクターデザイン、作画監督)
- 『フランソアTV-CM』(2007~、キャラクターデザイン、作画監督)
- 『ルパン三世 血の刻印 ~永遠のMermaid~』(2011、キャラクターデザイン、総作画監督)
- など

富沢 信雄

(アニメーション監督、株式会社テレコム・アニメーションフィルム)

株式会社テレコム・アニメーションフィルム所属のアニメーション監督。アニメーターとして『ルパン三世 カリオストロの城』(1979)『未来少年コナン』等に参加。『名探偵ホームズ』では演出・絵コンテとして参加。

【主な参加作品】

- 『ルパン三世 カリオストロの城』(1979、原画)
- 『未来少年コナン』(1978、原画)
- 『NEMO 二毛』(1989、アニメーション・ディレクター)
- 『無敵看板娘』(2006、監督)
- 『二十面相の娘』(2008、監督)
- 『リルぷりっ』(2010、演出・助監督)
- など